

グローバル全生物ゲノム株式ファンド (年2回決算型)

運用報告書（全体版）

第10期（決算日 2025年6月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「グローバル全生物ゲノム株式ファンド（年2回決算型）」は、2025年6月9日に第10期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年9月10日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル全生物ゲノム株式 ファンド（年2回決算型）	「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル全生物ゲノム株式 マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル全生物ゲノム株式 ファンド（年2回決算型）	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル全生物ゲノム株式 マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

日興アセットマネジメント株式会社

<645014>

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。

社名変更後URL : www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター

電話番号 : 0120-25-1404

午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額					ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスシーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)	株組入比率	純資産額
	(分配落)	税分配	込み金	期騰落率	(参考指標)			
6期(2023年6月7日)	円 5,932	円 0	% 9.6	131.47	% 2.0	97.7	百万円 6,285	
7期(2023年12月7日)	5,307	0	△10.5	128.80	△2.0	98.7	5,151	
8期(2024年6月7日)	5,224	0	△1.6	150.50	16.8	98.5	4,059	
9期(2024年12月9日)	5,059	0	△3.2	152.63	1.4	95.4	3,505	
10期(2025年6月9日)	4,587	0	△9.3	138.06	△9.5	98.6	2,813	

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスシーズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は、ファクトセット社が開発した世界のバイオ医薬品の開発、研究、製造、ソフトウェア技術等を手掛ける企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、日興アセットマネジメントが円換算したものです。なお、設定時を100として2025年6月9日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスシーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)	株組入比率
	騰落率	(参考指標)	騰落率		
(期首) 2024年12月9日	円 5,059	% —	152.63	% —	% 95.4
12月末	4,932	△2.5	153.53	0.6	98.0
2025年1月末	5,401	6.8	156.15	2.3	98.5
2月末	4,750	△6.1	146.23	△4.2	98.5
3月末	4,294	△15.1	142.00	△7.0	98.2
4月末	4,271	△15.6	131.62	△13.8	98.5
5月末	4,187	△17.2	133.84	△12.3	98.6
(期末) 2025年6月9日	4,587	△9.3	138.06	△9.5	98.6

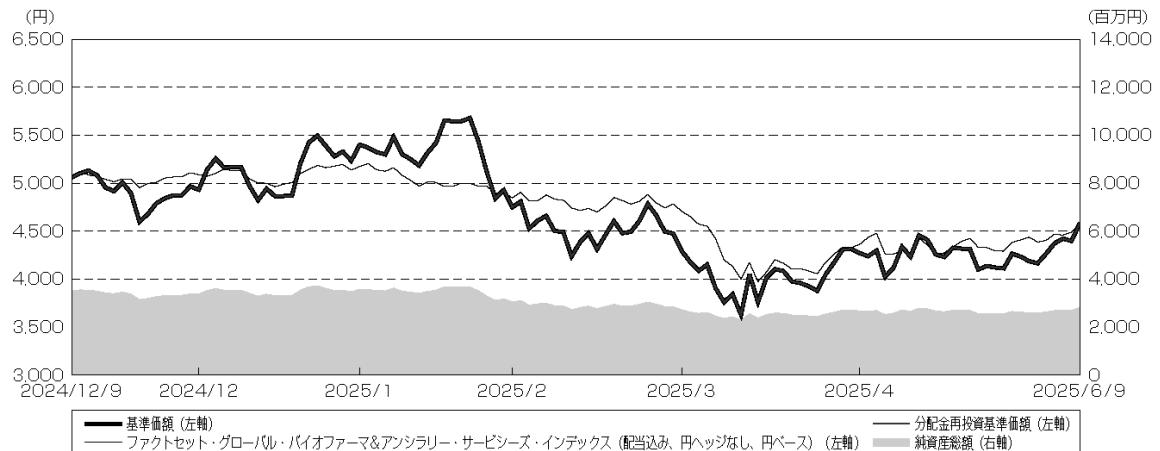
(注) 謄落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2024年12月10日～2025年6月9日)

期中の基準価額等の推移



期 首 : 5,059円
 期 末 : 4,587円 (既払分配金（税込み）: 0円)
 謄 落 率 : △9.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびファクトセット・グローバル・バイオファーマ＆アンシラリー・サービスーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、期首（2024年12月9日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ファクトセット・グローバル・バイオファーマ＆アンシラリー・サービスーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・人工知能（A I）が様々な業種に浸透し、普及が拡大したことを受け、幅広い業種の企業が恩恵を受けたこと。
- ・ゲノム解析、A I、精密治療の融合の他、パイプラインの進展や臨床のマイルストーンが見られたこと。

<値下がり要因>

- ・米国政権による関税政策の発表を受けて、株式市場が不安定になったこと。
- ・短期的な収益が限られている中小型のバイオテクノロジー企業の株価が、全般的に軟調だったこと。
- ・一部のゲノム企業で、企業収益が市場予想を下回るなど苦戦したこと。

投資環境

(株式市況)

期間中の世界の株式市場は、米国の大統領選挙を受けて規制緩和や税負担の軽減が予想されるなか、市場全体にとって概して好ましい環境が見込まれたことから上昇しました。しかし2025年に入ると、米国政権による追加関税の発表が市場全体の売りにつながり、中国の報復関税実施によって状況はさらに悪化しました。その後は複数の関税が再交渉あるいは一時停止されたことを受けて、市場は回復を見せました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

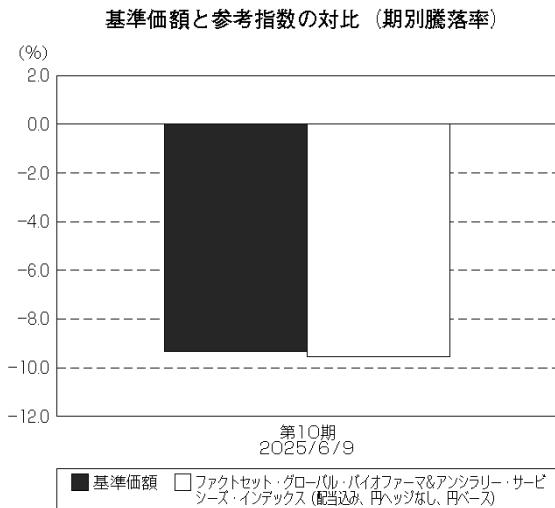
(グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド)

期間中の主な投資行動としては、自家保険を活用する事業者向けの民間ヘルスケア・プラットフォーム運営会社によって買収されたアコレイド（ヘルスケア機器・サービス）の保有を解消しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ファクトセット・グローバル・バイオファーマ＆アンシラリー・サービス・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第10期	
	2024年12月10日～ 2025年6月9日	
当期分配金 (対基準価額比率)	—	—%
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	5	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド）

技術革新の進歩や費用曲線の低下に関連したデフレ圧力が今後3～5年間においてゲノム企業・ゲノム関連企業の売上数量増加をもたらし、生産性、収益性を押し上げることになると予想しています。より重要なこととして、DNAシークエンシング（DNA（＝核酸）を構成する塩基の配列を決定すること）やゲノム編集などに関連する技術的進歩によって科学的発見のペースが加速することで、病気の症状だけを抑えるという治療ではなく、患者一人ひとりの病気を根治する個別化医療の時代の到来が予見されます。細胞療法の革新と他家由来細胞の活用が組み合わさることで、細胞療法の市場規模がさらに1,500億アメリカドル拡大する可能性があり、癌の遺伝子療法の総市場規模は約20倍に増加し、2,600億アメリカドルを超えると期待されます。そうした治療法のブレークスルー（大躍進）を受けて、シークエンシングに対する需要の拡大が加速すると思われ、シークエンシングは通常の医療の一部になると考えられます。また、これらの技術はヘルスケアの分野を超えて拡大してきています。例えば、2025年までCRISPR技術（ゲノム編集技術の1つ）は農業畜産水産物市場を推定でおよそ1,700億アメリカドル拡大させる可能性があり、世界の人口増加が予想されるなかで食料供給を支えるとみられています。人為的要因による土壤汚染や海洋汚染をゲノム技術の活用によって低減させ、それによって持続可能な作物の栽培や水産物の養殖が可能になるとみられます。当ファンドでは、DNAシークエンシングやゲノム編集、AI技術などの融合を活かし、世界経済においてあらゆる産業に影響を与える可能性がある企業を選好していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年12月10日～2025年6月9日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 42	% 0.900	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(22)	(0.466)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(19)	(0.411)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(1)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.042	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(2)	(0.042)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.001)	
(d) その他の費用	3	0.059	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.016)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用等）	(2)	(0.041)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指標の標章使用料など
合計	47	1.002	
期中の平均基準価額は、4,639円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

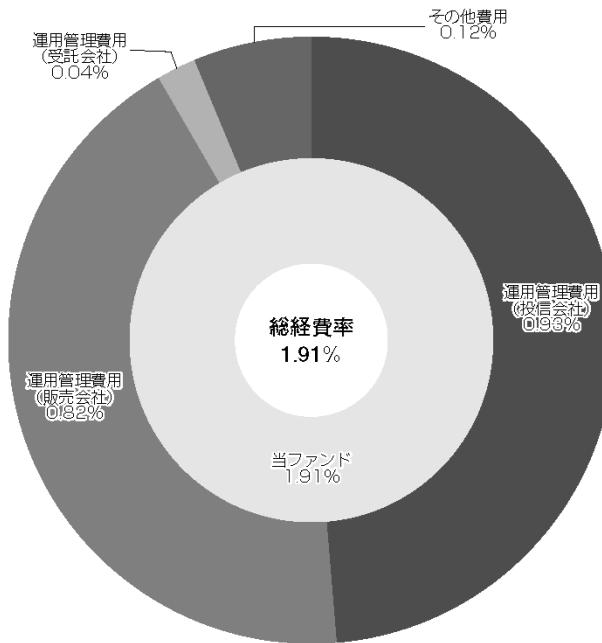
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年12月10日～2025年6月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	千口 98,642	千円 106,113	千口 392,373	千円 412,960

○株式売買比率

(2024年12月10日～2025年6月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	10,218,327千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	22,660,035千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.45

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国での取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月10日～2025年6月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年12月10日～2025年6月9日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年12月10日～2025年6月9日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年6月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 價 額
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	千口 3,119,332	千口 2,825,601	千円 2,795,085

(注) 親投資信託の2025年6月9日現在の受益権総口数は、22,098,234千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年6月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド	千円 2,795,085	% 98.1
コール・ローン等、その他	53,693	1.9
投資信託財産総額	2,848,778	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル全生物ゲノム株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（21,918,361千円）の投資信託財産総額（21,933,088千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、1アメリカドル=144.90円、1ユーロ=165.11円、1イギリスポンド=196.17円、1スイスフラン=176.21円、1オーストラリアドル=94.21円、1香港ドル=18.46円、1韓国ウォン=0.1064円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年6月9日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	2,848,778,388
コール・ローン等	53,692,355
グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド(評価額)	2,795,085,317
未収利息	716
(B) 負債	34,995,113
未払解約金	6,425,624
未払信託報酬	27,275,821
その他未払費用	1,293,668
(C) 純資産総額(A-B)	2,813,783,275
元本	6,134,072,529
次期繰越損益金	△3,320,289,254
(D) 受益権総口数	6,134,072,529口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,587円

(注) 当ファンドの期首元本額は6,929,020,391円、期中追加設定元本額は387,033,499円、期中一部解約元本額は1,181,981,361円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.4587円です。

(注) 2025年6月9日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,320,289,254円です。

○損益の状況（2024年12月10日～2025年6月9日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	102,564
受取利息	102,564
(B) 有価証券売買損益	△ 255,150,767
売買益	43,842,987
売買損	△ 298,993,754
(C) 信託報酬等	△ 28,569,489
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 283,617,692
(E) 前期繰越損益金	△3,043,045,716
(F) 追加信託差損益金	6,374,154
(配当等相当額)	(1,285,088)
(売買損益相当額)	(5,089,066)
(G) 計(D+E+F)	△3,320,289,254
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△3,320,289,254
追加信託差損益金	6,374,154
(配当等相当額)	(1,303,827)
(売買損益相当額)	(5,070,327)
分配準備積立金	2,361,350
繰越損益金	△3,329,024,758

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をしたした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2024年12月10日～2025年6月9日の期間に当ファンドが負担した費用は8,976,231円です。

(注) 分配金の計算過程（2024年12月10日～2025年6月9日）は以下の通りです。

項目	2024年12月10日～2025年6月9日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,303,827円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,361,350円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,665,177円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	5円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2024年12月10日から2025年6月9日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第60条）

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

グローバル全生物ゲノム株式マザーファンド

運用報告書

第6期（決算日 2024年12月9日）
(2023年12月8日～2024年12月9日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2019年1月16日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、ゲノム技術に関連するビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。

株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。

外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<639028>

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスシーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)			株組入比率	純資産額
		期騰落率	中率	(参考指數)		
2期(2020年12月7日)	円 21,377	% 89.0		140.96	% 22.5	% 99.3 百万円 117,320
3期(2021年12月7日)	16,836	△21.2		162.24	15.1	99.3 83,184
4期(2022年12月7日)	11,167	△33.7		166.89	2.9	99.6 45,741
5期(2023年12月7日)	11,144	△ 0.2		166.69	△ 0.1	99.4 41,899
6期(2024年12月9日)	10,817	△ 2.9		197.53	18.5	99.1 26,789

(注) ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスシーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) は、ファクトセット社が開発した世界のバイオ医薬品の開発、研究、製造、ソフトウェア技術等を手掛ける企業の株式で構成された米ドルベースの指数を、日興アセットマネジメントが円換算したものです。なお、設定時を100として2024年12月9日現在知りえた情報に基づいて指數化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスシーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)			株組入比率	
		騰落率	(参考指數)	騰落率		
(期首) 2023年12月7日	円 11,144	% —		166.69	% —	% 99.4
12月末	12,441	11.6		177.00	6.2	99.7
2024年1月末	11,432	2.6		181.05	8.6	99.4
2月末	12,777	14.7		192.71	15.6	99.6
3月末	11,665	4.7		192.45	15.5	99.2
4月末	10,262	△ 7.9		187.39	12.4	99.5
5月末	10,624	△ 4.7		190.53	14.3	98.9
6月末	10,480	△ 6.0		199.75	19.8	99.3
7月末	11,046	△ 0.9		204.00	22.4	99.3
8月末	10,566	△ 5.2		197.34	18.4	99.0
9月末	10,098	△ 9.4		192.40	15.4	99.3
10月末	10,237	△ 8.1		201.71	21.0	99.3
11月末	10,581	△ 5.1		198.05	18.8	99.3
(期末) 2024年12月9日	10,817	△ 2.9		197.53	18.5	99.1

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

(2023年12月8日～2024年12月9日)

基準価額の推移

期間の初め11,144円の基準価額は、期間末に10,817円となり、騰落率は△2.9%となりました。

基準価額の変動要因

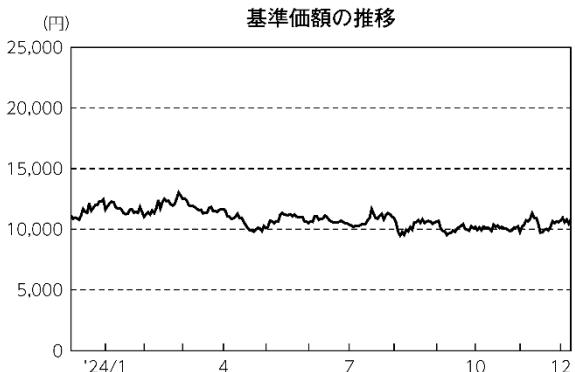
期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・人工知能（A I）や半導体への期待を背景に米国の大株価指数が過去最高値を更新するなど、先進国において株式市場が好調に推移したこと。
- ・遺伝子編集や精密医療技術が大きく進歩したことや、高度な診断ツールの需要が拡大したこと。

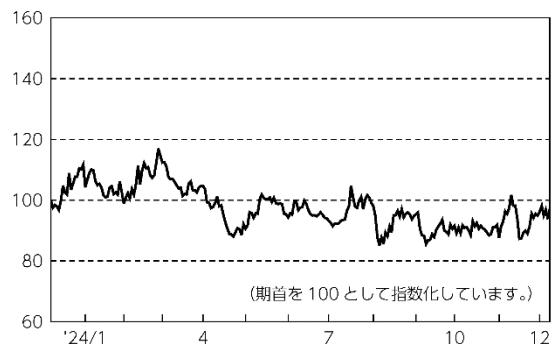
<値下がり要因>

- ・中国の景気後退や中東情勢の悪化に対する懸念が市場の重しとなったこと。
- ・金利上昇や資金調達環境の厳しさがスタートアップ企業に影響を及ぼしたこと。
- ・一部の企業で冴えない業績を背景に株価が低迷したこと。

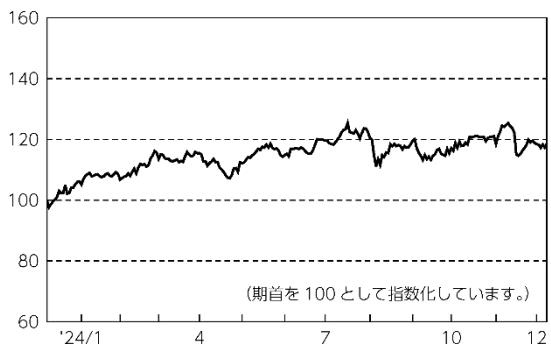


期 首	期中高値	期中安値	期 末
2023/12/07	2024/02/28	2024/08/06	2024/12/09
11,144円	13,032円	9,488円	10,817円

基準価額（指数化）の推移



ファクトセット・グローバル・バイオファーマ＆アンシラリー・サービスーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）（指数化）の推移



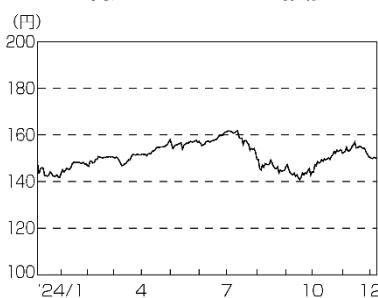
（株式市況）

米国連邦準備制度理事会（F R B）が2024年9月に利下げを実施して他の主要中央銀行に続くなが、株式市場はほぼ全地域で上昇しました。インフレ指標は、消費者物価指数（C P I）が予想の範囲内にとどまるなど、鈍化しています。日銀が利上げを実施して顕著に例外的な動きを見せるに、世界のボラティリティ（変動性）が一時的に高まりました。期間の終盤にかけては、米国の大統領選挙の結果を受けて、規制の緩和や税負担の軽減に対する期待が市場全体の追い風となり、市場は大幅に上昇しました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

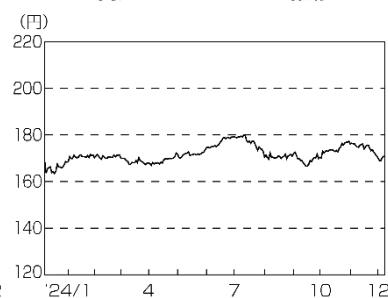
円／アメリカドルの推移



円／イギリスポンドの推移



円／スイスフランの推移



ポートフォリオ

期間中の主な投資行動としては、がん治療へのアプローチ方法に革命をもたらしているテクノロジー企業のテンパス A I（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）を新規に組み入れました。A I の力を活かした最先端のデータプラットフォームによって大量の患者データを分析し、それを用いて個々の患者の治療効果を予測することができます。この強力なツールを医師に提供することにより、より患者個人に合わせた治療選択肢を実現し、がん患者の治療成果の向上に貢献しています。

一方、Ginkgo Bioworks Holdings（素材）を全売却しました。アーリーステージ企業の資金調達環境が厳しさを増していることやバイオセキュリティ分野全般の収益性が低下していることを受けて、同社はより資金力のあるバイオテクノロジー企業や医薬品企業を対象とする営業モデルへと転換し、また、販売担当チームは方向性を改めて新しい顧客層の理解に努めています。また、細胞エンジニアリング・サービスにとどまらない研究開発支援サービスを展開していくために製品ラインナップの変更を進めていますが、この新たな製品スタンスは、従来から確固たる地位を築いている医薬品開発業務受託機関と競合することになります。

その他、市場全体のボラティリティや、当ファンドによる今後5年の年平均成長率予想と比較した足元の株価動向を勘案して、モデルナ（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）も全売却しました。

○今後の運用方針

技術革新の進歩や費用曲線の低下に関連したデフレ圧力が今後3～5年間においてゲノム企業・ゲノム関連企業の売上数量増加をもたらし、生産性、収益性を押し上げることになると予想しています。より重要なこととして、DNAシークエンシング（DNA（＝核酸）を構成する塩基の配列を決定すること）やゲノム編集などに関連する技術的進歩によって科学的発見のペースが加速することで、病気の症状だけを抑えるという治療ではなく、患者一人ひとりの病気を根治する個別化医療の時代の到来が予見されます。細胞療法の革新と他家由来細胞の活用が組み合わさることで、細胞療法の市場規模がさらに1,500億アメリカドル拡大する可能性があり、癌の遺伝子療法の総市場規模は約20倍に増加し、2,600億アメリカドルを超えると期待されます。そうした治療法のブレークスルー（大躍進）を受けて、シークエンシングに対する需要の拡大が加速すると思われ、シークエンシングは通常の医療の一部になると考えられます。また、これらの技術はヘルスケアの分野を超えて拡大してきています。例えば、2025年までCRISPR技術（ゲノム編集技術の1つ）は農業畜産水産物市場を推定でおよそ1,700億アメリカドル拡大させる可能性があり、世界の人口増加が予想されるなかで食料供給を支えるとみられています。人為的要因による土壤汚染や海洋汚染をゲノム技術の活用によって低減させ、それによって持続可能な作物の栽培や水産物の養殖が可能になるとみられます。当ファンドでは、DNAシークエンシングやゲノム編集、A I技術などの融合を活かし、世界経済においてあらゆる産業に影響を与える可能性がある企業を選好していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2023年12月8日～2024年12月9日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	円 12 (12)	% 0.111 (0.111)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.006 (0.006)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用) (その他)	5 (4) (2)	0.046 (0.033) (0.014)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	18	0.163	
期中の平均基準価額は、11,017円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2023年12月8日～2024年12月9日)

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国	アメリカ	百株 33,276 (△ 3,154)	千アメリカドル 57,925 (776)	百株 174,106 (170)	千アメリカドル 135,915 (776)
	イギリス	4,210	千イギリスポンド 634	6,613	千イギリスポンド 1,529
	スイス	3 (-)	千スイスフラン 56 (△ 7)	449	千スイスフラン 4,697
	韓国	—	千韓国ウォン —	297	千韓国ウォン 2,072,601
	中国オフショア	—	千香港・オフショア人民元 —	34,792	千香港・オフショア人民元 46,677

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年12月8日～2024年12月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	31,724,646千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	33,568,731千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.94

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年12月8日～2024年12月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年12月8日～2024年12月9日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2024年12月9日現在)

外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当期末				業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
BUTTERFLY NETWORK INC	9,231	—	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
CORTEVA INC	1,510	548	3,260	488,527	—	素材
GINKGO BIOWORKS HOLDINGS INC	58,206	—	—	—	—	素材
INVITAE CORP	11,692	—	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
PFIZER INC	624	—	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TELADOC HEALTH INC	2,618	—	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
UIPATH INC - CLASS A	2,507	—	—	—	—	ソフトウェア・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS-A	439	225	5,655	847,425	—	ヘルスケア機器・サービス
10X GENOMICS INC-CLASS A	1,701	2,875	4,562	683,764	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
908 DEVICES INC	6,060	4,674	1,070	160,400	—	デクノロジー・ハードウェアおよび機器
ABSCI CORP	—	11,632	3,617	542,092	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ACCOLADE INC	9,453	6,431	2,373	355,634	—	ヘルスケア機器・サービス
ADAPTIVE BIOTECHNOLOGIES	21,823	16,521	10,359	1,552,338	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMGEN INC	—	75	2,067	309,817	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ARTCURUS THERAPEUTICS HOLDIN	1,710	2,679	5,115	766,518	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BEAM THERAPEUTICS INC	3,740	2,572	6,870	1,029,517	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BURNING ROCK BIOTECH LTD-ADR	6,670	530	356	53,385	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CAREDX INC	8,708	2,955	7,401	1,109,137	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CERUS CORP	13,174	9,020	1,605	240,618	—	ヘルスケア機器・サービス
COMPASS PATHWAYS PLC	3,842	2,558	1,194	179,031	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CRISPR THERAPEUTICS AG	3,289	2,204	11,535	1,728,558	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EXACT SCIENCES CORP	2,911	446	2,788	417,842	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GUARDANT HEALTH INC	987	2,547	9,391	1,407,281	—	ヘルスケア機器・サービス
ILLUMINA INC	—	185	2,611	391,323	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INCYTE CORP	662	310	2,356	353,061	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTELLIA THERAPEUTICS INC	3,940	2,740	4,034	604,589	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
IONIS PHARMACEUTICALS INC	2,623	1,825	6,955	1,042,286	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
MODERNA INC	595	—	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NATERA INC	—	690	11,847	1,775,315	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NURIX THERAPEUTICS INC	—	1,043	2,229	334,101	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NVIDIA CORP	93	147	2,103	315,196	—	半導体・半導体製造装置
PACIFIC BIOSCIENCES OF CALIF	9,534	6,321	1,283	192,303	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PERSONALIS INC	10,836	7,489	3,108	465,748	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PRIME MEDICINE INC	5,070	3,886	1,270	190,457	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
QUANTUM-SI INC	23,596	15,236	2,026	303,669	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REGENERON PHARMACEUTICALS	68	38	3,032	454,441	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
RECURSION PHARMACEUTICALS-A	15,234	10,922	8,748	1,310,966	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
REPARSE THERAPEUTICS INC	3,260	1,162	366	54,872	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SCHRODINGER INC	1,250	1,035	2,262	339,047	—	ヘルスケア機器・サービス
SOMALOGIC INC	17,456	—	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
STANDARD BIOTools INC	—	5,928	1,079	161,694	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TEMPUS AI INC	—	1,478	7,456	1,117,302	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TWIST BIOSCIENCE CORP	3,564	2,218	11,692	1,752,160	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	181	74	3,465	519,273	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VERACYTE INC	4,363	2,542	11,221	1,681,529	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス

銘柄	期首(前期末)		当期末		業種等
	株数	株数	評価額	外貨建金額	
(アメリカ) VERVE THERAPEUTICS INC	百株 4,696	百株 —	千アメリカドル —	千円 —	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	277,934 39	133,780 37	168,376 —	25,231,235 <94.2%>
(イギリス) GENUS PLC OXFORD NANOPORE TECHNOLOGIES	976 16,868	644 14,797	千イギリスポンド 1,057 2,219	202,026 423,905	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	17,844 2	15,441 2	3,277 —	625,932 <2.3%>
(スイス) LONZA GROUP AG-REG NOVARTIS AG-REG	42 641	27 211	千スイスフラン 1,426 1,901	243,211 324,243	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	684 2	239 2	3,327 —	567,455 <2.1%>
(韓国) TOOLGEN INC	593	296	千韓国ウォン 1,161,927	122,350	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	593 1	296 1	1,161,927 —	122,350 <0.5%>
(中国オフショア) BERRY GENOMICS CO LTD-A BGI GENOMICS CO LTD-A	29,699 5,093	— —	千香港・オフショア人民元 — —	— — —	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	34,792 2	— —	— —	— <-%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	331,849 46	149,757 42	— —	26,546,974 <99.1%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2024年12月9日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 26,546,974	% 97.8
コール・ローン等、その他	610,652	2.2
投資信託財産総額	27,157,626	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(26,977,165千円)の投資信託財産総額(27,157,626千円)に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=149.85円、1ユーロ=158.20円、1イギリスポンド=190.98円、1スイスフラン=170.54円、1オーストラリアドル=95.81円、1香港ドル=19.26円、1韓国ウォン=0.1053円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年12月9日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	27,337,422,437
株式(評価額)	508,260,343
未収入金	26,546,974,266
未収配当金	275,708,967
未収利息	6,477,860
	1,001
(B) 負債	547,622,782
未払金	205,959,533
未払解約金	341,663,249
(C) 純資産額(A-B)	26,789,799,655
元本	24,766,872,908
次期繰越損益金	2,022,926,747
(D) 受益権総口数	24,766,872,908口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,817円

(注) 当ファンドの期首元本額は37,598,506,457円、期中追加設定元本額は794,457,293円、期中一部解約元本額は13,626,090,842円です。

(注) 2024年12月9日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型) 18,164,065,401円
- ・グローバル全生物ゲノム株式ファンド(年2回決算型) 3,119,332,058円
- ・グローバル・イノベーション株式ファンド(適格機関投資家向け) 2,516,758,684円
- ・Nikkoom FOFs用グローバル全生物ゲノム株式ファンド(適格機関投資家向け) 966,716,765円

(注) 1口当たり純資産額は1,0817円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2023年12月8日から2024年12月9日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

その他の変更について

●当ファンドについて、2024年11月29日付けにて運用における参考指数の表記を「FactSet Global Biopharma & Ancillary Services Index TR」から「ファクトセット・グローバル・バイオファーマ&アンシラリー・サービスーズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)」に変更いたしました。なお、上記変更は表記の明確化を意図したものであり、参考指数のデータ自体は従前のものから変更ございません。

●日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

○損益の状況 (2023年12月8日～2024年12月9日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	64,699,830
受取利息	35,469,210
その他収益金	4,988,366
支払利息	24,243,598
	△ 1,344
(B) 有価証券売買損益	△ 1,048,650,752
売買益	9,532,760,289
売買損	△ 10,581,411,041
(C) 保管費用等	△ 15,241,614
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 999,192,536
(E) 前期繰越損益金	4,300,604,987
(F) 追加信託差損益金	25,090,949
(G) 解約差損益金	△ 1,303,576,653
(H) 計(D+E+F+G)	2,022,926,747
次期繰越損益金(H)	2,022,926,747

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換算によるもの含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。